

プロジェクト概要

背景	・持続可能な資源リバランスの実現に向けては、これを支える民間事業による輸送システムの形成が不可欠となる。	
課題	・対象潜在資源、必要な輸送先や資源化事業の想定 ・安定的・効率的で事業採算面等で実現可能な輸送システムの構築 ・災害時廃棄物輸送においても活用可能な輸送システムの構築	
目標	・新たな資源循環システムを支える輸送システムに関わるビジネスモデルの立案と、輸送需要や事業採算性、制度面の課題等の検証 ・実証事業の実施によるフィージビリティの確認と事業化の道筋づくり	
問題意識・論点	・新たなサーキュラーバイオシステム等の資源循環において、品目毎にどのような輸送需要量、OD、荷姿等が想定されるか。 ・このうち内航輸送の対象となるのはどのようなものか。集荷、保管・貯留、積み替え、処理等、どのようなプロセスが想定されるか。 ・新たな内航輸送等の事業採算性の見通しはどうか。事業として成立させるために、どのような条件あるいは課題が想定されるか。 ・リサイクルポート等の既存の基盤施設を活用した既存の輸送事業において、どのようなことが事業成立の要件となっているか。 ・新たな資源循環に関する内航輸送等において、既存のリサイクルポート等の活用が可能か。あるいは、どのような新たな施設の改良・再編等が必要か。 ・新たな内航輸送システムは、災害時の廃棄物輸送に活用可能なものとなるか。既存の災害廃棄物輸送と整合性のあるものか。 ・既存の災害廃棄物輸送システムが有する課題について、どのような解決の道筋を考えるべきか ・新たな輸送システムの形成に向けて、規制面、制度面の課題はあるか。公的支援の必要性はあるか。	
事業展望	2022年度	2023年度
	情報交換・テーマ絞り込み	フィールド設定・ケーススタディ
		実証事業 (個別の事業化検討)

★本研究会開催日

メンバー 19名（2022年7月28日現在）

氏名	所属	会員組織	会員
塩原 佑理	グリーン・サマル株式会社 熱源活用事業部 主任	○	○
中島 伸太郎	大和不動産鑑定株式会社 次長	○	○
山田 政彦	協業組合仙台清掃公社 代表理事 理事長	○	○
粟井 洋和	株式会社JEMS 社長室	○	○
梅村 真二郎	株式会社タケエイ	○	
古賀 信司	J & T 環境株式会社 マテリアルリサイクル事業本部 副本部長	○	
小松 源	三友プラントサービス株式会社 取締役	○	○
今井 麻美	株式会社富山環境整備 イノベーション事業部 次長	○	○
加治 幸大	北陸ポートサービス株式会社 代表取締役	○	○
高野 治	株式会社リョーシン 代表取締役社長	○	○
高野 晃	株式会社リョーシン 取締役副社長	○	○
妙見 英樹	株式会社エンビプロ・ホールディングス	○	
三輪 昌輝	三光株式会社 代表取締役	○	○
川嶋 淳	株式会社神鋼環境ソリューション 副部長	○	○
町川 和倫	株式会社富士クリーン 企画開発部 部長	○	○
井上 海彦	オオノ開発株式会社 事業部長	○	○
上田 徹	オオノ開発株式会社 常務取締役	○	○
大島 権人	株式会社大島産業 代表取締役社長	○	○
青山 俊介	株式会社環境構想研究所 代表取締役	○	○

2022年度活動方針（案）

概要	・活動目標を踏まえ、2023年度からの本格的なビジネスモデル検討や検証に備えて、必要な基礎情報等の収集・共有を図るとともに、主要な論点に関する意見交換を行うことを目的とし、研究会を数次にわたり開催する。					
概略工程	2022年8月	10月	12月	2023年2月	4月	
	●8/1第1回分科会 ★8/9 企画検討・調整	★10/6 ②メンバー間情報交換	★12/6	★2/7 ③次年度検討内容検討		